

ごてんば社協だより

ひだまり

被災者に寄り添う
災害ボランティアセンター



一日も早く平穏な生活に
戻られることを
心からお祈りいたします



本会では、伊豆山土砂災害発生直後の令和3年7月5日に開設された熱海市災害ボランティアセンターへ職員延べ6人を派遣し、ボランティアの方々と共に被災者支援活動を行ってまいりました。

立ち入り禁止エリアが緩和された7月21日から始まったボランティア活動は、これまでにボランティア約千人の参加を頂き、2百件超のニーズに対応してきました。

災害ボランティアセンターは、9月末をもって一旦その役目を終え、10月1日から「復興ボランティアセンター」に名称を変更し、中長期的に被災地域の復興に寄り添うこととなりました。

ひだまり No.303

もくじ

- 熱海災害支援最終報告…………… 1～3
- 第33回御殿場市社会福祉大会
静岡県健康福祉大会
全国社会福祉大会…………… 4～5
- あざみ移動支援サービス協定締結式
御殿場自動車学校教習コースで実地講習!!
ひろがるSDGs…………… 6
- 介護の日イベント報告/地域包括支援センター菜の花
「支援員連絡会」開催
歳末たすけあい運動がはじまります…………… 7
- 感謝のページ
障害者週間のお知らせ…………… 8

令和3年7月3日(土)、静岡県東部は記録的豪雨に見舞われ、熱海市伊豆山では大規模土砂災害が発生し、甚大な被害を受けました。

この災害で被災された方々に対して、これまでに消防、警察、自衛隊等の公的機関に加えて、ボランティアやNPO団体等による幅広い支援活動が行われてきました。

御殿場市社会福祉協議会として関わった「義援金募集」や「災害ボランティアセンター運営」について、詳細を報告いたします。



発災前



発災後

被害状況 (9月3日熱海市発表)

- (1) 被害棟数 128棟
- (2) 発見者状況 死亡26人
中等症3人
その他25人
- (3) 行方不明者 1人

義援金募集 (11月5日現在)

本会がお預かりした義援金寄附者一覧
(受付順 敬称略)

- ・富田雄一
- ・石川昭
- ・勝又朗
- ・御殿場民踊グループ
- ・中村ソコ
- ・身体障害者福祉会高根支部
- ・御殿場市老人クラブ連合会
- ・御殿場市赤十字奉仕団
- ・琴城流大正琴御殿場愛好会
- ・身体障害者福祉会御殿場支部
- ・くろづくみの会
- ・匿名市民 11人

合計 **809,616円**
御協力ありがとうございました。

義援金の募集は、現在も継続されています。
皆様の御支援を引き続きよろしくお願いたします。
被害状況、義援金の詳細は熱海市役所HPを御覧ください。

熱海市役所HP



災害ボランティアセンター開設

7月5日(月)に、熱海市社会福祉協議会により「災害ボランティアセンター」が立ち上げられ、ボランティアの募集が始まりました。

このセンターは、社会福祉協議会の持つネットワークをいかし、静岡県社会福祉協議会、県内市町社会福祉協議会、ボランティア、NPO団体等の協力を得て運営されました。

本会では、7月19日～21日、8月2日～4日、8月18日～20日、8月23日～25日、9月10日～12日、10月8日～9日の6回、職員延べ6人を派遣し、センター運営の支援に当たりました。

ボランティア活動者数

(10月24日現在)
延べ**988人**(熱海市民のみ)

※事前のボランティア登録者数
3,982人

(熱海市民 1,027人)
(御殿場市民 131人)



ボランティア活動内容

●二一ズ件数 **237** 件

内訳・被災家屋の土砂掻き出し・清掃	70件
・引っ越し作業	49件
・その他(ゴミ出し・車両出し・傾聴等)	118件

熱海市復興ボランティアセンターの詳細はHPを御覧ください。

熱海市復興ボランティアセンターHP



災害ボランティア活動は、7月21日(水)から熱海市在住の方限定で本格的に始まりました。初期段階では、熱海市行政が立ち入りを許可した伊豆山浜地区の屋内外の土砂の掻き出し、清掃といった活動が実施されてきました。

その後、立ち入り禁止区域が緩和され、被害が大きかった伊豆山仲道地区での活動となり、土砂の掻き出しだけではなく、被災者の引っ越し等の生活支援も増え、ボランティアの活動先は、多種多様なものとなりました。



【派遣期間：9月10日～12日】



湯山 紀美子

支援先は仲道地区で、浜地区から移転したばかりの頃に現地入りしました。

被災者からボランティアセンターへ寄せられる要望も土砂の掻き出しから引っ越しの支援へと移行し、新たな要望にどのように対応すべきか、皆で知恵を出し合いながら話し合いを続けました。

引っ越しの支援は、荷物をまとめるだけの作業だけなのか、軽トラを使用し引っ越し先までボランティアが荷物を運ぶことが必要なのか、土砂災害で使用できなくなった電化製品などをどこに運搬するのか、丁寧に聞き取り、臨機応変な判断が必要となりました。

支援の途中、ボランティアが泥まみれになった置物を「被災者の思い出の品物だから!」と水道水で綺麗に洗い流している場面に遭遇しました。その一生懸命な光景に自身も胸を熱くして支援を続けることができました。



※その他派遣職員の見聞報告は9月20日発行NO302に掲載しております。

第33回御殿場市社会福祉大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、様々な感染対策を講じた上で10月2日(土)の開催に向けて準備を進めてきました。

しかしながら、感染の収束の見通しが立たない状況等を踏まえ、関係者の皆様の安全面を最優先に考慮し、誠に残念ではございますが、本大会を中止することといたしました。

静岡県健康福祉大会、全国福祉大会も同様の理由で中止となりました。

なお、表彰された皆様には、個別に表彰状、感謝状等をお届けしました。

第三十三回 御殿場市社会福祉大会

(敬称略・順不同)

御殿場市長感謝状

個人

4人

(市のために10万円以上500万円未満の私財を寄附した人)

島口隆策
杉山篤實
芹沢眞成
小野秀夫

団体

9団体

(市のために10万円以上500万円未満の私財を寄附した団体)

株式会社勝又商事
東静岡ヤクルト販売株式会社
株式会社三興総業
一般社団法人玉穂報徳会
一般社団法人御殿場愛郷報徳社
一般社団法人龍報徳社
一般社団法人原里愛郷振興協会
一般社団法人中畑愛郷会
一般社団法人高根愛郷会

御殿場市社会福祉協議会会長感謝状

個人

5人

(社会福祉協議会に対し、1年間に5万円(物資の場合は相当額を含む。)以上の金品を寄附した人)

渡邊章夫
末光義史
江藤工ミ
伊達直人
芹沢菊枝(故人)

団体

9団体

(社会福祉協議会に対し、1年間に5万円(物資の場合は相当額を含む。)以上の金品を寄附した団体)

御殿場市婦人会連絡協議会
御殿場ニューモラル友の会
玉穂地区の街づくりを考える会
立正佼成会一食平和基金
ジェイビルジャパン株式会社
大雲院
株式会社カジマヤ
株式会社セブンイレブン・ジャパン
株式会社ススキ総業・株式会社ススキ総業グループ

御殿場市社会福祉協議会会長表彰

社会福祉施設・団体

8人

(社会福祉事業施設又は社会福祉事業団体の役員及び施設長として10年以上、従事者として15年以上社会福祉事業に勤続し、その功労が顕著な人)

佐井真野
鈴木留美子
中川玲花
塚本りつ子
山田奈三子
柏木誠次
土屋英和
勝間田裕子



土屋英和様(左)、柏木誠次様(右)
社会福祉法人 武蔵野会 さくら学園



中川玲花様(左)、塚本りつ子様(中央)山田奈三子様(右)
社会福祉法人 十字の園 御殿場十字の園



鈴木留美子様(左)、佐井真野様(右)
社会福祉法人 富岳会



勝間田裕子様
社会福祉法人 飛翔の会

自立更生者

(身体障害者又は母子世帯であつて、自ら更生に努め、他の模範となる人)

伊藤國夫
加藤朝久

2人



加藤朝久様(左)、伊藤國夫様(右)
御殿場市身体障害者福祉会

団体

(社会福祉事業に対し、労力的、経済的又はその他の方法により、積極的に協力援助を行い、その進展に寄与した団体)

一般社団法人玉穂報徳会
公益財団法人鈴木道雄記念財団

2団体

静岡県共同募金会会長感謝状

個人

(共同募金運動の推進に貢献し、その功績が特に顕著な募金ボランティア個人)

石川 昭
田代光子

2人

団体

(共同募金運動の推進に貢献し、その功績が特に顕著な募金ボランティア団体)

御殿場地区民生委員児童委員協議会
一般社団法人御殿場愛郷報徳社
一般社団法人中畑愛郷会
一般社団法人玉穂報徳会
一般社団法人印野郷土振興協会
一般社団法人古沢共和国
大雲院
株式会社ルマン
矢崎エナジーステム株式会社富士工場
陸上自衛隊駒門駐屯地
陸上自衛隊滝ヶ原駐屯地
トヨタ自動車東日本労働組合
御殿場市老人クラブ連合会
御殿場遊技業組合
北駿地区労働者福祉協議会
御殿場市福祉事業協力会

16団体

静岡県健康福祉大会

静岡県社会福祉協議会会長表彰

民生委員児童委員

(民生委員として10年以上在籍し、功績顕著な人)

井上 司

4人

杉浦重子
初鹿野郁子
芹澤泉

保護司

(保護司として10年以上在籍し、功績顕著な人)

杉山敏久

1人

法人役員・事業所従事者

(社会福祉施設の役員として10年以上、従事者として15年以上在職し、功績顕著な人)

毛利とみ江
渡辺ちる子
森光
立石浩美
鈴木信義

5人

静岡県共同募金会会長表彰

団体

(共同募金運動の推進に貢献し、その功績が特に顕著な募金ボランティア団体)

一般社団法人玉穂報徳会

1団体

全国社会福祉大会

全国社会福祉協議会会長表彰

社会福祉法人・福祉施設功労者

山内久美子
勝又康代

2人

中央共同募金会会長表彰

陸上自衛隊板妻駐屯地

小規模多機能型居宅介護あざみ 移動支援サービス事業に関する協定締結式

～福祉施設による地域貢献～

10月4日(月)、小規模多機能型居宅介護あざみ(市内東山 代表者 宇野アヤノ様)と「移動支援サービス事業」に関する協定を締結しました。

東山・二の岡移動支援サービスは、民生委員さんが高齢者の移動支援に関する要望をキャッチしたことから始まり、10月5日(火)から本格稼働となりました。その中で、小規模多機能型居宅介護あざみ様には、地域貢献の一環として、この取組に協力していただいております。

福祉車両を提供していただくことで、地域のボランティアが高齢者の移動支援、買い物支援を実現することが可能となりました。今後も地域での移動支援の推進を図ります。

東山区・二の岡区

移動支援が実施されています

日時

毎月第1・3火曜日 午前10時から12時まで

対象者

東山・二の岡区民で移動手段がなく
買い物に困っている概ね65歳以上の方

*買い物自体には補助を必要としない方

申込み・問合せ

担当地区の民生委員児童委員
(東山区・二の岡区)

東山・二の岡移動支援サービス

電話 (055)0-83-5259

代表 米山



代表 米山喜興志様(左) 代表 宇野アヤノ様(中央) 会長 三井米木(右)
東山・二の岡移動支援サービス 小規模多機能型居宅介護あざみ 御殿場市社会福祉協議会

御殿場自動車学校 教習コースで実地講習!!

10月18日(月)、19日(火)に国土交通省認定「福祉車両運転者講習」を実施しました。

御殿場自動車学校(市内中畑 管理者 遠藤広一様)の御厚意で教習コースを使用させていただき、有意義な実地講習を行うことができました。

受講された23人の方々は、今後、地域活動や運転ボランティア活動の担い手としての活躍が期待されます。



実地講習の様子

ひろがるSDGs

株式会社カジマヤ(市内茶沢 代表取締役 勝又淳様)は、SDGsの取組として、コインランドリーの売上げの1%を毎月社会福祉協議会に寄附していただいております。

SDGsの取組は、社長が青年会議所で子ども食堂への食料の寄附を集める協力をした際に、会社内でもできることがないかと思いついたことをきっかけに始めたそうです。



株式会社カジマヤ 代表取締役 勝又淳様

今ではSDGsの取組が大切なことであると、社員の皆様の共通目標として少しずつ浸透しているようです。

寄附を通じ、社会福祉協議会に期待していることは、地域の中の生活に困っていて助けを求めたくても声を上げることができない家庭をしっかり支援していただくことと社長は訴えます。

私たちは、関係機関とのネットワークをいかし、期待に応えられるように努力していききたいと思います。

地域包括支援センター菜の花

11月11日「いい日いい日で介護の日」 のイベントを開催しました

「高齢になった時の備えについて考えよう」をテーマに、菜の花版の人生マップを作成しました。マップは、それぞれ御自身のこれまでの出来事や、これから誰とどこで、どんなふうに暮らしたいかといった希望、急な病気や介護が必要になった時にどうしたいかを記入したものです。生活の中でずっと大事にしていたことが、将来を選択する時にも失われないように、思いを大切な人に伝えておくことや、「もしもの時」にどのような選択を希望するかをしっかりと考えておくことが、自分らしく暮らし続けるための備えの一つであることを参加者の皆さんと確認し合いました。また、介護施設への入居相談などを手掛ける「しずなび介護なび」の相談員の方に、施設の種類や特徴、費用などの話を伺いました。参加者からは「あまり聞く機会がなかった。分かりやすい話が聞けて参考になった。」と好評を得ました。展示コーナーでは高齢者の方々の作品を写真などで展示して、皆さんの元気の素を紹介。作品はその後1週間、市民交流センターふじざくら1階の廊下に展示し、来館者の関心をひいていました。



11月11日は 介護の日

厚生労働省においては、“介護について理解と認識を深め、介護従事者、介護サービス利用者及び介護家族を支援するとともに、利用者、家族、介護従事者、それらを取り巻く地域社会における支え合いや交流を促進する観点から、高齢者や障害者等に対する介護に関し、国民への啓発を重点的に実施するための日”として、「11月11日」を「介護の日」と決めました。

2008(平成20)年 厚生労働省ホームページ「介護の日について」より

支援員連絡会開催

昨年10月から12月に開講された「令和2年度市民後見人養成講座」の受講生の中から、現在6人の市民が、成年後見制度や日常生活自立支援事業の支援員として活動しています。

10月19日(火)、支援員6人が、ケース記録の書き方を学び、市民後見人へステップアップする際の留意点について、考えました。

また、後半は、支援をする中での「悩み」「喜び」「疑問」「不安」などを支援員と社会福祉協議会の職員で共有しました。

これからも、御本人の意思を尊重し、支援を必要とされている方々が、毎日楽しく、生きがいを持って生活できるよう適切な支援を心掛けていきたいと思っています。



つながり ささえあう みんなの地域づくり

12/1
から

歳末たすけあい運動がはじまります

運動期間12月1日～31日 皆様の心温まる御協力をお願いいたします。

令和3年度の計画

■世帯配分	300件	5,290,000円
■施設配分	1件	50,000円
■事業費配分	24件	760,000円

合計 6,100,000円

令和3年度目標額 **610万円**

本年度も皆様の心温まる御協力をお願いいたします。



12月1日から共同募金運動の一環として歳末たすけあい運動が始まります。令和3年度の実施に当たっては、新型「コロナ」ウィルス感染症の影響下における休業失業を余儀なくされた世帯の増加に歯止めが利かない今だからこそ、住民の参加や理解を得て「たすけあい」運動を重点的に展開するものです。

お寄せいただいた金品は、審査に基づき、民生委員児童委員さんなどの協力を得て、経済的に支援が必要な家庭や市内の認可外保育施設などへ12月中にお届けします。

市民の皆様には、区長さんを通じての戸別募金や、職場や学校におきまして御協力をお願いしてまいります。

感謝のページ

令和3年4月～令和3年10月

社会福祉協議会へ御寄附を頂き厚くお礼申し上げます。
寄せられた御寄附は、有効に活用させていただきます。
(敬称略・順不同)



温かい思い遣い、誠にありがとうございます。ございます。有効に使わせていただきます。

金員の寄附

・ 感應寺

・ 社会福祉法人武蔵野会さくら学園

・ 渡邊草夫

・ 株式会社カジマヤ

・ 永田友子

・ 高橋とみ江

・ 芹沢菊枝(故人)

・ 末光義史

・ 大雲院

・ 小松フミ子様御遺族

・ 玉穂中学校第12回卒業同窓会

・ 伊達直人

・ 新橋婦人会

匿名市民 12人

物品の寄附

・ スーパーホテル御殿場II号館

・ 樽林せい子

・ ジェイビルジャパン株式会社

・ 永田友子

・ 大窪民主

・ 株式会社セブン・イレブン・ジャパン

・ 静岡トヨタ自動車株式会社

・ 堀内豊

・ 巢瀬武士

・ 大友昭男・すえ子

・ マニライフ生命保険株式会社

御殿場支社

・ 太田妙子

・ 鈴与株式会社

・ NPO法人エコハウス御殿場

・ 渡辺多嘉子

匿名市民 25人

障害者週間パネル展示

12月7日(火)～17日(金)

「障害者週間」(12月3日～9日)は国民の間に広く障害者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的として「障害者基本法」に規定されています。

社会福祉協議会では障害者週間に合わせ、市民交流センターふじくら1階交流ロビーにおいて、障害者福祉関係団体・施設の福祉活動展示を行います。皆様、是非お立ち寄りください。



昨年の障害者週間パネル展示の様子

令和3年度障害者週間講演会

御殿場・小山自立支援協議会では、障害者週間期間中に講演会をYouTubeで配信いたします。

配信期間 令和3年12月3日(金)～9日(木)

講師 NPO法人ゆめ風基金 理事 八幡隆司

講演テーマ

「障害者の防災を考える
～自分は何ができるか、地域は何ができるか～」

問合せ

御殿場市社会福祉課 電話(0550)824238

小山町住民福祉課福祉班 電話(0550)766661

御殿場市ホームページ
を経由して
動画視聴ページに
アクセスできます



訂正とお詫び

■10月20日発行NO.303の2頁に掲載した記事に誤りがありました。

「ポニー食堂」 誤 開催日:不定期
正 開催日:毎週土曜日

「てとてとひろば」 誤 開催日:最終水曜日
正 開催日:毎月第3月曜日(月の中頃フードシェアを実施)

訂正し、お詫び申し上げます。

社会福祉協議会は第5次地域福祉活動計画の策定に取り組んでいます。